



目 次

KGA今年度活動方針	1	新規加盟倶楽部紹介	11
関東ゴルフ連盟理事長 細川 譲貞			
〈KGAレポート〉関東オープンの再出発	2	総会・理事会・分科委員会	13
4年度役員・委員名簿	6	月例競技成績表・お知らせ	18
春季ジュニア・ゴルフ・スクール	8		

表紙Photo 深井昌司(我孫子ゴルフ倶楽部)

関東ゴルフ連盟

ゴルフ界の将来に向けて 叢書を集めよう

—細川理事長の今年度活動方針—



空前のゴルフ・ブームとは裏腹に、平成3年度はゴルフ場に関する不祥事が相次ぎ、好ましからざるニュースが連日マスコミをぎわせました。

ゴルフが素晴らしいスポーツ、生涯スポーツとして市民権を得つつある今日、まことに憂慮すべき事態と言えます。ごく一部の不心得者の仕業とはいえ、ゴルフ界全体で受けたダメージは大きく、いちじるしくイメージ・ダウンしました。1日も早くこれを払拭しなければなりません。

わたしたちは、健全スポーツとしてのゴルフの原点を思いおこし、力を合わせ、総力をあげてゴルフのイメージ、ステータスを高めなければいけないと想います。

そのために、KGAの果たすべき責務はいろいろあります。ゴルファーのマナーの向上、ジュニア・ゴルファーの育成、農薬・環境問題、税金問題等、ゴルフ界のあることに閑知し、問題解決の行動をとらなければなりません。

具体的には、各分科委員会にて検討を重ねており、計画の実行に当たっては、皆様に提案し、ご協力、ご尽力いただけます。

さて、以上の諸問題の解決にあたっては、先づKGAの財政基盤を強化する必要があります。これまでのKGAの活動の大部分は、スポーツ競技団体としてのそれであり、ともすればゴルフ界全体の動きに目がとどかず躊躇するきらいがありました。組織として素早く対応するには資金も準備もありませんでした。この事を反省し、これからは活動に必要なファンを用意する必要があります。

そのために、今年度は暫定的に年会費を倍額ご負担いただき、平成5年度より公正な徴収方法、適正な金額を定め、皆さんにお詣りする所存であります。

具体的には関係者より後刻、説明させます。

次に「関東オープン」の開催方式の変更についてふれたいと思います。ご承知のように「関東オープン」は42回の歴史と伝統を誇る競技であります。これまでわが国ゴルフ界の発展に大いに寄与してまいりました。

この「関東オープン」が今年度より、プロ協の公式公認競技からはずれることになりました。その経緯につきましては、これまで幾度かご報告、ご説明いたしましたので省略いたしますが⁶、いづれにしても関東ゴルフ連盟

が存続する限り、この由緒ある「関東オープン」は継続して開催しなければなりません。

しかし、開催方式、内容となりますと自づを変更せざるを得ないこともあります。これまでの「関東オープン」は、いわば興業的な要素が多分にありました。そのことにより一定の利益をあげることができ、KGAの財政上かなりの割合を占めておりました。

入場料、広告料、特別協賛金、NHK放映料等で1億円をこす収入がございましたが、これらの収入源が今のところ期待できない状況にあります。

したがって、開催方式を抜本的に、いわば『発想を転換』して改革する必要があります。具体的な内容につきましては、昨年来「関東オープン準備委員会」において検討し、その基本案を理事会にて次のように審議・決定いたしました。

1. プロ協の公式公認競技からはずれても、地域のゴルフの振興、アマチュア、プロゴルファーの育成上有意義な競技であり、継続して開催する。
 2. 開催にあたっては、国際性、社会性をおびたチャリティを企画する。

チャリティにつきましては、さまざまの案がございましたが、国連難民救済のためにUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に一定額寄金することにいたしました。

わが国の世界に対する貢献がさまざま論議されている今日、私たちもゴルフを通じいさかなりとも社会貢献、国際貢献する必要があることは言うまでもありません。その具体的な実行にあたっては、関東で2,500万人といわれるゴルフ爱好者、全加盟俱乐部438の力と善意をKGAに結集して、貢献したいと考えております。

ちなみにUNHCRにとってスポーツ界からの寄金の申し出は、世界で初のことであると、緒方貞子高等弁務官が大変よろこばれたことを付言いたします。

以上のように今年度は、KGAにとって重要な年であり、ゴルフ界の将来に向けて叢書を集め新たな飛躍にそなえるべき年と考えます。

みなさまのこれまで以上のご協力、ご尽力を賜ります
よう心よりお願いいたします

(この活動方針は、去る2月21日の通常総会において示され、満場一致で承認されたものです。)

関東オープンの再出発

KGA関東オープン準備委員長
競技委員長

尾関 秀夫

聞き手・KGA広報委員
杉山 通敬

関東オープンが大きく変わる。高額賞金の“冠大会”が乱立する中でアマチュア・スポーツ団体の主催競技はどうあるべきか、ゴルフを通じて社会貢献することの意義は、尾関委員長の抱負を聞く。



抱負を語る尾関委員長（右）

「自前」と「チャリティ」と

——今年からPGA公認競技から外れたことで、関東オープンの開催意義が改めて見直されているのですが、どのような方向づけをしていくかと考えておられるのか、まず、そのポリシーをお聞かせ下さい。

「基本的には二つの開催意義を持たせたいと思っています。一つは昭和25年から42年間にわたって培ってきたチャンピオンシップ・トーナメントとしての存在価値ですね、これをどう持続させていくかです。いわゆるスポンサー・トーナメントとは別のもの、名譽とか伝統といったものが評価されてきた。歴代のチャンピオンの顔ぶれを見ますと第1回大会の中村寅吉氏を始めとして日本のトーナメント界をリードしてきた選手が名を連ねている。その伝統は絶やしたくない、というのか一つです。もう一つはチャリティ・トーナメントにすることですね。国連難民高等弁務官事務所（UNHCR・注記参照）へチャリティすることによって新しい意義づけをしたいと思っています」

——伝統の灯を守ることとチャリティが2本柱になる。

「もう少し具体的に言いますと、第1の点ではアマチュアのスポーツ団体であるKGAが主催する競技なのだから、われわれ自身で、つまり自前で運営しようということです。これまでご協力いただいたスポンサーには深甚なる謝意をこの場を借りて申し上げたいのですが、これからはチャリティの面からご協力を願い、賞金その他、競技運営に関わる費用はKGAの予算で賄いたい。昨年度の場合で1億3,500万円かかったんですが、今年は8,000万円の予算を計上していただいた。これはエントリーフィー（約300万円）を除けば全額赤字予算です」

——再出発を機に自らの手で新しい伝統を付加していくことですね。

「自前でつづけていくことに意義があるのではないかと考えたのです。昨年までに財政面をはじめ競技運営の面でも開催コースに大変な負担をお掛けしてきた。これまた感謝しなければならないことです」

——本当に、成功すれば素晴らしいですね
「自前運営にしろチャリティにしろ、いきなり大成功を収めようとする何かと無理が出るでしょうが、今年よりは来年、来年よりは再来年というように少しずつでもゴルファーの皆さんとの理解が深まっていくようにしたい。地味に、丹念に、一步一步、進めていきたいと思います。理想像は描いているわけですから、あとはそこへ向けて近づけていくことですね」

——チャリティのほうは具体的にどのように進めていくのですか。

「KGA特別会計の繰越し金の約8,100万円の中から1,000万円をUNHCRにチャリティします。PGAのほうも趣旨に賛同してくれましたので賞金総額（3,000万円）の1割をチャリティしてくれることになっています。合せて1,300万円の寄金になります。そして今年からは入場料をいただきかねに、加盟438俱楽部にチャリティボックスを設けまして、寄付してくださった方には金額の多少にかかわらず、無料で入場整理券を差し上げる。トーナメント会場にも同じようにチャリティボックスを設け、やはり寄付してくだされば入場整理券を差し上げる。善意の寄金をいただいて入場してもらう。チャリティボックスにお金を入れていただくことによって関東オープンへの参画意識も高まるのではないかと思うのです。企業にも働きかけて賛同してもらえばチャリティしていただく。そうやって集った“善意の寄金”は全額、UNHCRを通して全世界の難民救済に役立ててもらおう、というわけです」

2,500万人が参画する大会にしたい

——事務局の資料によりますと、加盟438俱楽部の延入場者数は2,500万人ほどだそうですが、これだけのゴルファーがこの趣旨に賛同してくれるようになれば、大きな力になりますね。

「関東オープンを毎年1回、自分たちが参画するトーナメントとしてみててくれるようにしていきたい。そうなったら本当に意義深い大会になると思います」

——ボランティア活動も積極的に協力してもらうようにならいかがですか。趣旨をPRすれば、例えばゴルフ雑誌やスポーツ紙にパブリシティしてもらえば、開催コースの近隣住民やメンバーの協力が得られると思いますが……。

「参画意識が高まれば自然と協力してくださる方も増えてくるでしょうね。ある意味では原点に還ったと思うのです。地区オープンというのは各地区的健全なゴルフの振興と立派なゴルファーを育てることを大きな目的としてスタートしたと思うんですが、関東オープンの場合だと42年の間にその目的が変化してきた」

——関東オープンに対する評価が変化したんですね、出場選手や一般ゴルファーの。

「ええ。それがもう一度、原点に戻って、もっと地域に密着したトーナメントとして再出発することになったとも言えますね。ですから、これからやりようによれば地域のボランティアも積極的にご協力いただけると思います。みんなで運営していくトーナメント」

世界のスポーツ界で初の試み

——こういうかたちのチャリティはほかに例があるのですか。

「以前、日本の女子テニスがやったことがあるそうですが、大々的にやるのは世界でも初めてです。ご存知だと思いますが、国連難民高等弁務官というのは国連総長とともに、国連総会で選ばれたたった2つの“長”です。大変重要で、責任の重い役職なのですが、このポストに緒方貞子さんがついていらっしゃる。昨年、ジュネーブでお会いして今回のことを申し上げたら大変に喜んでくださいました。是非、成功させて下さいって」

ナメント、というところに『自前』の意義があり、そこにチャリティを盛り込んだところに、もう一つの意義があると考えています」

——それでも難民救済に思いをいだかれたのは素晴らしいですね。何か動機があったのですか。

「昨年の関東オープン開催中のことですが、夜、床の中に入つてから『チャリティだ。チャリティならこれだ』と思ったんです」

——皆さん、ご協力の程を。声を大にして言いたいです。

「本当にね。でも、ジワジワでもいいんです」

※注・国連難民高等弁務官事務所 (United Nation High Commissioner For Refugees)

国連総会の決議に基づいて1951年に設立され、「難民の保護」と「難民問題の恒久的解決の追求」を主な任務として活動。これまでに2,500万人以上の難民がUNHCRの援助を受けてきた。現在も1,700万人以上の難民を対象に援助事業も実施している。1989年の場合で5億764万8,878ドルの基金が全世界から寄せられた。このうち、アメリカの24.8%について、日本は14.5%で2位。ECが8.3%で3位。

1990年12月21日の国連総会で日本の緒方貞子さんが第8代国連難民高等弁務官に選出された。UNHCRのスタッフは2,000人、世界100ヶ所に事務所があり、緒方さんはその指揮にあたっている。

国連難民高等弁務官

緒方貞子さんからのメッセージ



エチオピア難民キャンプを訪れた緒方高等弁務官
(提供 UNHCR)

「第43回関東オープンゴルフ選手権競技」をきっかけに、多くのゴルフ愛好家の皆様が、世界各地の難民問題に、更に関心を深めていただければ幸いです。ここに、本トーナメントを主催される「関東ゴルフ連盟」の発意を取り組みに深甚なる敬意を表し、お札を申し上げるとともに、大会のご成功をお祈りいたします。

関東ゴルフ連盟が、本年の「関東オープンゴルフ選手権競技」の開催に当たり、地球規模の難民問題に关心をお寄せになり、組織をあげて難民救済へのご協力を決定されたことは、国連難民高等弁務官である私にとって、大きな励ましであり、この上ないよろこびであります。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、自分の国で、迫害にあって人権を踏みにじられたり、戦争や内乱などにより、他の国や地域に逃れなければならなかった人々に対する国際的な保護と援助を任務としております。こうした難民は現在1,700万人にのぼっています。現在、私どもは、過去数年来の国際情勢の急激な展開の下、国際社会の理解と協力を得つつ、カンボジア難民の帰還やアフリカ等世界各地域の難民の保護・援助に全力を投入しているところです。

「チャリティ」ってどんなこと?

永井 淳 (翻訳家)



カット 山県和彦

チャリティ・コンサートとかチャリティ・オークションといった表現で日ごろ耳になじんでいる「チャリティ」という言葉は、今日ではとくに宗教的なニュアンスを持っていないが、本来はキリスト教的愛を意味する言葉で、キリスト教の seven principal virtues (七つの大徳) のひとつにかぞえられている。ちなみにこの七つの大徳とは、信仰、希望、愛(慈善)、正義、節制、勇気、知恵をいう。それらと対比されるのが seven deadly sins, いわゆる七つの大罪である。

charityの語源はラテン語の caritas (愛、慈しみ) である。貧しい人や病人を助けるという思想はほぼ人類の歴史とともにあったが、古代ギリシャやローマでは、それが富める者の義務ではあっても、宗教的な意味合いはほとんどなく、単なる giving of alms (施し) にすぎなかった。いわばそれはあくまでも個人的な行為であった。だがキリスト教の浸透とともに慈善の性格に変化が生じる。死後の魂の救いを確実にするためには、生前に善行を積まなければならないというキリスト教の教えが、貧しい者への施しと教会への寄進を奨励することになったからである。いわば義務としての消極的慈善から、自分の利益のための積極的慈善への変化といってよいだろう。かくして中世においては教会が中心となって組織化された慈善をおこなうようになる。今日の病院の原型である施療院や旅人の宿泊施設などは教会の管轄下におかれていた。

やがて産業革命の到来とともに市民社会の貧富の差が拡大されると、教会とは別に、事業に成功した富者たちによる貧者の救済という形の慈善事業がおこなわれるようになる。いわゆる篤志家による慈善だが、こうした事業は個人によってばらばらにおこなわれたために、計画性や合理性に欠けるという欠点もあった。その弊害を取り除くために19世紀後半にロンドンで「慈善組織協会」が設立され、救済を必要とする人々の名簿の作成、記録、生活調査などが組織的におこなわれるようになる。今日の国家による社会福祉事業はその延長線上にある。

近代の社会が多様化、複雑化して、従来の民間による貧民救済思想では現実に対応しきれなくなるにつれて、慈善事業は三たびその性格を変えて、国家が主体となっておこなう福祉事業へと変身する。

今日「チャリティ」という名で呼ばれているのは、不特定多数を対象とする弱者救済活動ではなく、ある特定の目的を持った fund-raising (資金集め) のための催してあることはご承知のとおりである。

役員・委員名簿

平成4年度

役員・理事・分科委員一覧

役員・理事

理事長 細川護貞(東京)
副理事長 中井文治(東京) 古賀始(茨城)

松浦均(習志野)

常務理事 相山武夫(横浜)
(15名) 北村順則(チヂクロス)

小宮山義孝(総武)

松野京三(チレックス)

鍋島直要(東京)

斎藤文志郎(フォレスト)

滝沢武(都賀)

渡邊満之助(船橋)

理事
(31名) 海老原亜之(水戸グリーン)
福嶋寿(塙原)

林和雄(桜ヶ丘)

広中三男(宇都宮)

神場多巳一(那須小川)

河尻昭一(鶴舞)

桑原正明(美野原)

前田福三郎(チ・鹿野山)

三木春逸(鶴の台)

森村太生(程ヶ谷)

鬼沢忠治(白帆)

大坪成彬(新千葉)

佐久目晋三(長岡)

鈴木章司(富岡国際)

對馬好次郎(甲府国際)

山田実(大浅間)

吉原武(日光)

吉澤兵左(唐沢)

監事
顧問
(4名) 岩本勇(都賀)
西野謙介(愛農)
勝又豊次郎(袖ヶ浦)

*諸方太郎(長南)

鈴木太郎(相模)

金丸富夫(取手国際)

総務委員会(10名)

委員長 中井文治(東京)
副委員長 古賀始(茨城) 松浦均(習志野)

委員 福田彰(鶴ヶ丘) 北村順則(チヂクロス)

松野京三(チレックス)

尾関秀夫(武藏)

滝沢武(都賀)

對馬好次郎(甲府国際)

財務委員会(10名)

委員長 松浦均(習志野)
副委員長 中井文治(東京) 古賀始(茨城)

委員 福田彰(鶴ヶ丘) 北村順則(チヂクロス)

松野京三(チレックス)

尾関秀夫(武藏)

滝沢武(都賀)

對馬好次郎(甲府国際)

競技委員会(41名)

委員長 尾関秀夫(武藏)
副委員長 河西幹一(セントラル) 新井昌男(大利根)
新井安寿(武藏) 山田八郎(東名)
委員 平山誠一(江戸崎) 安藤功(東名)
土井頼嗣(横浜) *畠山善治(相模原)
*平田成二(藤ヶ谷) 本多隆将(東京)
市川一夫(伊香保) 飯塚賢治(府中)
小池尚(チヂクロス) 小山敏男(青梅)
湊義夫(龍ヶ崎) *本吉正彦(千葉)
諸戸精孝(霞ヶ関) 中川好正(鶴の台)
野口正三(桜ヶ丘) 野本俊夫(袖ヶ浦)
*沼澤英治(日光) 大出正義(新千葉)
大久保幸次(日高) 大島義治(阿部ナシ)
折井政信(穗高) 蔵戸總三郎(愛農)
関谷龍太郎(東宇都宮) 鈴木昭満(大利根)
竹下修一(平塚富士見) 田村圭司(小田原・長沼)
田辺嘉一(鶴能) *田中克幸(嵐山)
牛込右一(飯能) 山田武男(白帆)
*山田保太郎(桜) 山本和夫(横浜イーグル)
山崎博靖(富士) 山崎滋男(スカイウェイ)
矢野隆男(富士山) 吉野統治(戸塚)

ハンディキャップ委員会(30名)

委員長 渡邊満之助(船橋)
副委員長 原田英正(袖ヶ浦)
委員 斎藤文志郎(フォレスト) 平山誠一(江戸崎)
桑原正明(美野原) 吉澤兵左(唐沢)
*福田豊(横浜イーグル) 伏見博明(チレックス)
萩原剛(草津) 服部真吾(沼津)
原延璋(湯河原) 亀田秀夫(日高)
川又茂三(那須小川) 町田孝平(長野)
三宅通順(都賀) 宮元昭雄(総武)
永田眞一(武藏) 大原慎二(霞ヶ関)
関根宏一(鶴の台) 鈴木正治(府中)
*田原和夫(桜) *寺田勇(鶴舞)
佃恭男(習志野) 白井則吉(我孫子)
*八木秀夫(立科芙蓉) 山田八郎(東名)
山本泰朗(セントラル) 横内宏明(昇仙峡)
顧問 福田彰(鶴ヶ丘) 古茶一之(草津)

コース・レート委員会(19名)

委員長 渡邊満之助(船橋)
副委員長 北村昭夫(東京国際)
委員 生田恵一(大利根) *前川武英(富里)
松岡和歲(東京) *宮辰夫(習志野)
*諸戸精孝(霞ヶ関) 内藤正幸(桜ヶ丘)
中川好正(鶴の台) 中野弘治(芙蓉)
岡田光正(嵐山) 大久保蕃(桜ヶ丘)
奥延通康(茨城) 阪田哲男(袖ヶ浦)

佐久間義雄(姉ヶ崎) *鈴木軍治(袖ヶ浦)
竹岡和彦(船橋) 和田光司(嵐山)

顧問 福田彰(鶴ヶ丘)

月例競技委員会(20名)

委員長 斎藤文志郎(フォレスト)
副委員長 山崎宣彦(霞ヶ関) 川島英雄(高板)
委員 平山誠一(江戸崎) 久富章嗣(浅見)
市川忠美(南摩城) 小久保武夫(藤岡)
小池茂(戸田国際) 松井義明(日高)
本吉正彦(千葉) 中野弘治(芙蓉)
根本太満(戸戸) 大久保蕃(桜ヶ丘)
岡田光正(嵐山) 岡野幸男(日高)
阪田哲男(袖ヶ浦) *桜井真一(高坂)
鳴田恵人(青梅) 新村ヨシオ(千葉)
竹林守(チレイクス)

ジュニア育成委員会(89名)

委員長 松野京三(チレイクス)
副委員長 *菅野昇(ノーベルケン) 川島英雄(高板)
紅露昭通(筑波) 大久保蕃(桜ヶ丘)
大鷲俊朗(紫) 田辺嘉一(飯能)
委員 林和雄(桜ヶ丘) 平山誠一(江戸崎)
広中三男(宇都宮) 村松貴彦(沼津)
安藤祥治(東松山) 榎本靖(戸塚)
藤園賢雄(草月・東証) 古屋浩(東名厚木)
浜田治郎(我孫子) 日暮俊明(扶桑)
広瀬康夫(程ヶ谷) 久富章嗣(浅見)
市川一夫(伊香保) 飯田方至(我孫子)
池田義男(宇都宮) 池頭嘉弘(唐沢)
笠原喜久男(鶴の台) 小池尚(チヂクロス)
小池茂(戸田国際) 小山敏男(青梅)
間宮恒行(東名) *増岡隆一(我孫子)
松井義明(日高) *松下宗嗣(セントラル)
三田高裕(草月・東証) 宮辰男(習志野)
宮元昭雄(総武) 森肇(筑波)
本吉正彦(千葉) 中島廣行(伊豆にゆか)
中野弘治(芙蓉) *西村仁一(浦和)
野本俊夫(袖ヶ浦) 野村龍夫(我孫子)
根本太満(戸戸) 沼田正巳(秦野)
小川透(阿部ナシ) 萩野隆義(武藏)
萩原知昭(草月・佐野) *岡戸行雄(千葉)
奥延通康(茨城) 大川聰(霞ヶ関)
大野清純(高坂) 大島義治(阿部ナシ)
大竹徹(高坂) 桜本隆(南緑)
鳴田恵人(青梅) 多々良義成(武藏)
高安信行(セントラル) 竹林守(チレイクス)
山下進(龍ヶ崎) 山崎一(戸田国際)
山崎博靖(富士) 山崎滋男(スカイウェイ)
矢野正彦(嵐山) 矢野隆男(富士山小山)
安間章浩(横浜イーグル) 安間章浩(横浜イーグル)
甘糟澄子(東千葉) 五十嵐昌子(相模)
加藤勝栄(相模原) *菊地恵美子(宇都宮)
坂越百子(霞ヶ関) 宮前慶子(東筑波)

田村千代子(兼ヶ谷) *湯原光葉(烏山城)
萩原武(草津) 平林平治(諏訪湖)

川崎三郎(ワレット) 小松幹司(袖ヶ浦)

孤塚敏雄(塙原) 水野武(筑波)

佐藤辰夫(甲府国際) 広瀬雅敏(ミズノ)

江藤浩一(高崎国際) 葉狩哲郎(高崎国際)

橋本賢一(高崎国際) 石井貢(高崎国際)

伊藤優(高崎国際) 真橋幹夫(高崎国際)

峯岸文男(高崎国際) 西村一郎(高崎国際)

山本嘉男(高崎国際)

広報委員会(9名)

委員長 庄野五一郎(飯能)
副委員長 深井昌司(飯能)
委員 舟橋一芳(江戸崎) 石川博英(嵐山)
片山晴美(越生) 北川祐司(郡須)
宮元昭雄(総武) 杉山通敬(鬼怒川)
和田憲一(藤ヶ谷)

税対策委員会(22名)

委員長 小宮山義孝(総武)

副委員長 北村順則(チヂクロス)

委員 相山武夫(横浜) 古茶一之(草津)

田中經策(グランベル)

盛川誠二(宇都宮) 佐久目晋三(長岡)

坂口弘征(戸塚) 坂本章一(霞ヶ関)

澤村三郎(伊豆国際) 玉置忠夫(横浜)

勝又豊次郎(袖ヶ浦) 煙俊平(立川国際)

萩原武(草津) 小松幹司(袖ヶ浦)

孤塚敏雄(塙原) 水野武(筑波)

森英(千葉) 中村芳之(総武)

佐藤辰夫(甲府国際)

グリーン委員会(19名)

委員長 古賀始(茨城)

副委員長 小宮山義孝(総武)

監事 海老原亜久寿(水戸グリーン)

*相澤伸幸(太田双葉)

浅沼勉(サニー)

藤原清(都賀)

*古谷野延雄(日立)

坂本章一(霞ヶ関)

鈴木正治(府中)

渡辺悦志(君津)

山崎一(戸田国際)

萩原武(草津)

平林平治(諏訪湖)

平本精剛(東京国際)

大久保昌

コース選定委員会(7名)

委員長 鍋島直要(東京)

副委員長 田辺嘉一(飯能)

委員 北村昭夫(東京国際) 岡田光正(嵐山)

阪田哲男(袖ヶ浦) 佐藤利永子(入間)

高木邦雄(相模)

*印は、新任

待ちこがれた球春の到来

—KGA春季ジュニア・ゴルフ・スクール—

文・中西利夫（共同通信・スポーツ特信部）

写真・深井昌司（KGA・広報委員）

球春の訪れを告げる春のKGAジュニア・ゴルフ・スクールが3月23、27、30、31日の4日間、関東4都県の6会場で開かれた。昨年実施の我孫子ゴルフ倶楽部（千葉）、茨城ゴルフ倶楽部（茨城）、桜ヶ丘カントリークラブ（東京）、東京国際カントリー倶楽部（東京）、セントラルゴルフクラブ（茨城）に加え、今回、ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場（埼玉）が会場提供に協力。受け皿の拡大に伴い、参加希望者も昨年の約2倍に当たる1,055人を数えた。「春はジュニアとともに」とも言われるが、関係者の努力が年々、大きな実を結ぶ形となって表れている。

今回のジュニア・スクールの大きな特徴は、クラス分けを技量別に行ったことにある。これまで、会場への交通事情により地域別の編成を行ってきたが、今回、テストケースとして実力別のクラス分けを実施。参加者を初心・初級、中級、上級と3つのレベルに分け、会場に同じレベルのジュニア会員を集めることで、より適切な指導と楽しい会の開催を主眼に置いた。

もちろん、ゴルフ連盟主催のジュニア・ゴルフ・スクールとしては、レベル別にクラス分けして実施するのは全国で初めて。いくつか問題点も浮かんだが、ジュニア育成委員会の松野京三委員長が「従来より内容の濃いものにできた」と話すように、参加者の笑顔と笑い声がその成果のほどをよく物語っていた。

一例を挙げれば、松野委員長はじめ関係者が一番



▲寒い日には入念な準備体操

気をもんでいた初心・初級のクラス。スコア的には1ラウンド・130以上をたたくというビギナーたち120人（申し込みは138人）が、雄大な林間コースを誇る我孫子ゴルフ倶楽部に集まつた。参加者は2つの大きなグループに分かれ、実際のラウンドとショットの練習などを午前、午後と入れ替わながら行った。あいにく昼過ぎからは冷たい雨。天候には恵まれなかつたが、小学生の“豆ゴルファー”たちは、めったに体験できないコースでのプレーとあって、寒さでかじかんだ手をこすりながらも「もっとやりたい」と指導員におねだりするシーンも。高校生の中には控えめに初級者として申し込んだのか、130どころか100前後でラウンドする中級組の姿もあった。

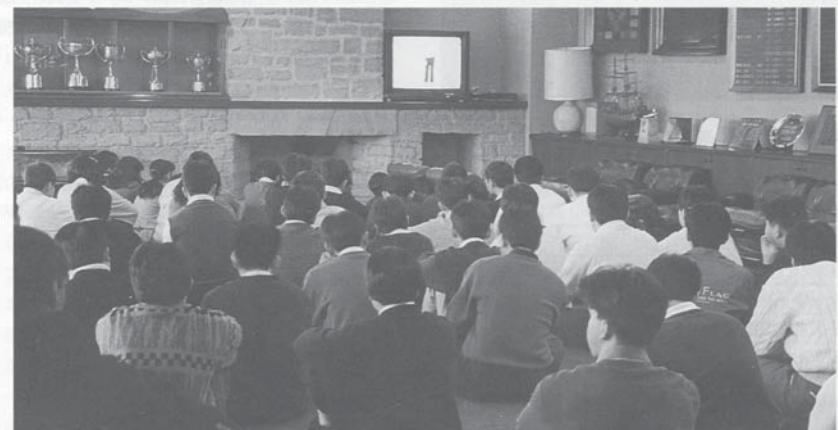
指導員は豪華メンバー

このスクールには日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会の協力で、昨年に続きプロゴルファーが技術面で支援。インストラクターとして参加した。とりわけ、先の我孫子スクールには林由郎プロをはじめ一門の原兄弟プロ、佐藤精一プロ、海老原清治プロら、男子15人、女子3人の充実した顔触れがそろつた。さらにKGAの委員が16人（男子13、女子3）加わり、合計で34人。ラウンドは35組に分かれて行つたので、1組につき1人の指導員となり、初心・初級者のクラスならではの理想的な運びとなつた。



▲フック スライス シャンク チョロ 林プロは自在に打ち分ける

参加者の声を拾うと、立原綾乃さん（東京・武蔵野東小4年）は「パターの持ち方を教えてもらって勉強になった。今回初めて参加したけど、夏もまた来たい」。河野亞紀さん（千葉・南志津小6年）も「バンカーショットの打ち方を林先生に教わり楽に出るようになった。楽しかった」と技術面での収穫を口にした。



▲ビデオによる マナー ルールの基本レッスン

新規加盟俱楽部紹介

目的是立派なゴルファーの育成

もっとも、このスクールはジュニアの技術向上のために開いているわけではないことを喚起しておきたい。松野委員長によれば「スクール参加者の中から世界的プレイヤーを輩出することが目的ではない。将来、立派なゴルファーになってもらうために基本的なエチケットとマナーを学んでもらうのが目的」と趣旨を明確に説明している。

その意味で指導者サイドの感想を聞けば、林プロは「私がゴルフと接したのは昭和8年で11歳の時。我孫子のキヤディーを始めてからだった。ゴルフの上達には若い時に体で覚えた方がいいことが多いが、今の子供たちに一番大事なのは自然にあいさつができるようにしつけること。パンカーショットの後、後ろの組のことを考えて砂をならすように、洗面台だって使った後は次に使う人のことを考え、飛び跳ねた水をタオルで拭いておきたい」とゴルフで学んだことを実社会でも応用できるよう呼び掛ける。またトーナメント間の休みを利用して出席した海老原プロは「今年から選手会で、特にゴルフに関係する地域への社会貢献を推進している。スクールへは今回が2度目。指導するのは1日だけだから細かいことを言っても駄目だけど、簡単なエチケット、マナーに加え、何よりゴルフの楽しさを味わってもらいたい」と話した。

日本ゴルフ協会にジュニア委員会が設置されたのが昭和56年。その委員会を吸収拡大する形で昭和61年、ジュニア育成委員会が誕生した。松野委員長は

ジュニアの育成に関しては「米国より50年以上も遅れをとっている」と強調し、まだまだ未熟な日本の育成システムに愚痴をこぼす。JGAのジュニア育成の柱の1つである各地区連盟の主催のジュニア・スクールを例に取るならば、北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州の8連盟でスクールの最多開催は九州の3度(春、夏、冬)。北海道では雪が残る関係で、ゴルフ場のオープン自体が4月末。開催は必然的に夏の1度だけとなっている。また四国のように、これまで徳島県のゴルフ場が独自で開いてはきたが、連盟主催としては今夏が初めてとなるところも存在する。

KGAの場合、ジュニア会員の数が全国8,300人の6割強に当たる5,200人を抱えるだけに他の地区連盟にない悩みがある。今年のスクールで春1,000人、夏2,000人を対象に開校するものの、所属会員の6割にしか及ばず決して満足できるものではないことだ。不満を生む理由としては、やはり受け皿の不足が第一に挙げられる。開催に当たってはゴルフ場の1日全面提供が原則となっており、仮に提供者があっても、ジュニアが参加できる日となると、春休み、夏休みに限定され、なかなかうまくかみあわないことがままあるようだ。また、受け皿が整ったところで現状においては指導者不足の点もクリアしていかなければならぬテーマでもある。いづれにしてもジュニアにとって、わが国のゴルフ環境は劣悪であることは拒めない。その改善にはジュニア委員の熱意だけで解決はしない。ゴルファー全員に暖かい支援と理解をお願いしたいものだ。

平成4年度 春季ジュニア・ゴルフスクース参加人数

俱楽部名	参加申込	欠席	参加	委員	(名)	
					男子プロ	女子プロ
1 我孫子ゴルフ俱楽部	138	18	120	16	15	3
2 茨城ゴルフ俱楽部	193	41	152	17	12	2
3 ノーザンカントリークラブ 鶴ヶ原ゴルフ場	210	40	170	18	16	2
4 桜ヶ丘カントリークラブ	164	21	143	13	12	3
5 東京国際カントリー俱楽部	162	23	139	14	12	2
6 セントラルゴルフクラブ	188	67	121	9	12	2
合計	1,055	210	845	87	79	14

下仁田カントリークラブ



- 俱楽部名 下仁田カントリークラブ
住所 群馬県甘楽郡下仁田町大字馬山625
電話 0274-82-6111
- 開場年月日 平成2年10月10日
- 理事長 根津嘉一郎 大正2年9月29日生
俱楽部代表者 村上誠一郎 勾坂芳夫
- 俱楽部分科委員長
コース委員長 宮田芳太
競技委員長 大田高平
ハンディキャップ委員長 小山喜一
ハウス委員長 伏島武一
フェローシップ委員長 天野健太郎
プロ・キヤディ委員長 小井土瀬太郎
- 支配人 石井克忠 昭和17年6月4日生
- 俱楽部概要

東武鉄道グループ6番目のコース。群馬県内では伊香保CC、桐生CCにつぐコースとして平成2年10月オープン。都心から車で上信越自動車道下仁田IC(平成4年度開通予定)から僅か1.5kmという立地条件に恵まれた群馬県西南部に位置し、交通至便の地にあり、124万m²の広大な丘陵地に広がるフラットなコースです。

コースからは、妙義・榛名・赤城の上毛三山と浅間山を遠望し、あの中国の桂林を想わせる奇岩の山々を眺望出来る下仁田ならではの景観で、自然を満喫しながら存分にプレーを楽しむというカントリークラブの本来の条件を見事に備えております。

コース監修は、日本プロゴルフ協会会長の浅見勝一氏があたり、ビギナーからトッププロまでが充実したラウンドが味わえるコース設計で人と自然がプレーを通して対話するという理想に近づけたコースをめざしています。コースの高低差は45mと少なく、

アップダウンのない丘陵かむしろ林間の趣のあるゆったりとした造りで、各ホールのフェアウェーはほとんどフラットで全体的に広々としておりOBも少ない。グリーンは総べてペントのワングリーンで、平均840m²と大きいのが特長だが微妙なアンジュレーションがあり、スコアメイクは極めて難しい。池は6ヵ所あり、この内直接ホールに絡むのは4つ、また、バンカーも随所に配置し戦略性をもたせ、果敢に攻める勇気と慎重に判断する冷静さが大事でそのプレーが直にスコアに表れる奥深いコースである。18番最終ホールは第1打が打ち下ろしの左ドッグのロングホール。グリーンの90ヤード手前と左側にある2つの大きな池とクラブハウスをバックにした景観は、美しいの一語に尽き、グリーンサイドの斜面に自然のギャラリースタンドを作りトーナメントも開催出来るコース設計となっています。

クラブハウスは、外観やインテリアについて極力派手さや贅沢感を抑え素直な美しさの中に奥ゆかしさとやさしさを踏まえ、プレーの後の安堵感とまどろみ、エグゼクティブな気分を味わえる緑黄銅板の大屋根と小屋根を組み合わせた洋風の建物です。

森林公園ゴルフ俱楽部



- 俱楽部名 森林公園ゴルフ俱楽部
住所 埼玉県大里郡寄居町大字牟礼1132
電話 0485-82-3211
- 開場年月日 平成2年11月6日
- 理事長 石川六郎 大正14年11月5日生
俱楽部代表者 石川六郎 和田傳次郎
- 俱楽部分科委員長
総務委員長 藤森鐵男
ハウス委員長 川崎誠一
キヤディ委員長 塩谷忠男
競技委員長 山本安一

新規加盟倶楽部紹介

コース委員長 上村智彌

ハンディキヤップ委員長 和田傳次郎

5. 支配人 上田陵一 昭和16年5月1日生

6. 倶楽部概要

当ゴルフ倶楽部は、関越自動車道路沿いにあるゴルフ場の中でも交通の便に恵まれた武藏野台地の一角に位置しています。都心からは練馬I.C.から入り花園I.C.で降り(56.1km、約40分)I.C.よりコースまで、(5km、約8分)。

電車利用の場合は、東武東上線(池袋発)で小川町駅下車、駅前よりクラブバスが冬期は4便、夏期は5便運行(約15分)されている。

比企丘陵の素晴らしい地形の中にゆとりあるコース用地を確保し、ティーグラウンドから200~250ヤード位までの地点が見渡せること、そして第2打目地點からグリーンを確認できること。ホール間の移動距離も平均35mと短く、その高低差も約5m以内とし、登りは緩く楽にプレイできること。各プレーヤーが自分自身でホールの性格を知り、ショットを決められることなど、ブライドホールをなくして適度にアップダウンのあるコースです。

また、広々としたコース内は恵まれた地形を生かしながら、バンカーや樹木を配して変化をつけ、フラットでありながら戦略的な、誰もが存分に楽しんでいただけるコースです。

天気の良い日は秩父連山をはじめ、遠くは妙義山、榛名山、赤城山、日光連山、筑波山等の山並みと東京方面が見渡せる展望のよい丘陵コースです。

広々としたゴルフ場内に、ゆったりと建てられたクラブハウス。(延床面積4,870.07m²)

白い外壁に寄棟造りの屋根を配し、落ちていた雰囲気を演出いたします。また、地形に合わせて2階を入口とし、レストラン、ラウンジ、浴室などを設置。1階にスターティングテラスを設け、スムーズにご利用いただけます。コースに向かって大きく張り出した展望レストランはコース内外を眺望できるよう配置されております。

「ゆとりと寛ぎのクラブライフ」を存分にお愉しみいただけるよう、充実したクラブハウスとなっております。

小田急西富士ゴルフ倶楽部



1. 倶楽部名 小田急西富士ゴルフ倶楽部

住所 静岡県富士宮市内野1291-1

電話 0544-54-2000

2. 開場年月日 平成1年8月1日

3. 理事長 利光達三 大正9年4月23日生

俱楽部代表者 滝上隆司 大正14年10月2日生

4. 倶楽部部分科委員長 選任中

5. 支配人 山田 登 昭和16年1月6日生

6. 倶楽部概要

天下の名瀑白糸の滝の近くで雄大なる靈峰富士の裾野に広がる大地。標高が600メートル前後で、夏は比較的涼しく、冬場も駿河湾の海風の影響で積雪はほとんどなく年間を通してプレーが出来る。非常に平坦な土地で、杉、檜、なら等の自然の樹林も豊富に残されて落ち着いた雰囲気が漂う丘陵コースである。

要所にバンカーやグラスバンカー、マウンド、ウォーターハザードなどを配しきわめて戦略性の高い18ホールに仕上がっている。

グリーンはペントのワングリーンで大きくアンジュレーションもある。富士山の眺望がいいことも自慢のひとつで、とくに池を配した14番ホールは快晴の日は富士山から伊豆半島、駿河湾までが見渡せる。12番のロングホールは富士山に向かってゆるやかに打ち下ろしていく代表的ホール。爽快な気分でショットを満喫できるだろう。

総会・理事会・分科委員会

第44回通常総会 議事録

第44回通常総会は、平成4年2月21日(金)午前10時30分より、東京都千代田区紀尾井町4-1ホテルニューオータニにおいて開催された。出席は、加盟倶楽部435のうち、委任状を併せて319倶楽部、上程された各議案は慎重審議の結果、次記のとおり決議された。

記

連盟規約第17条により、細川理事長が議長となり、総会成立の報告の後、開会を宣し、議事に移った。

第1号議案

平成3年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

細川理事長より、平成3年度事業報告及び4年度活動方針を示された後、議長の指名を受け、事務局長決算報告、財産目録を説明。若本勇監事より、監査の結果、正確適正に処理されていた旨の報告があり、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第2号議案

平成4年度一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

中井副理事長より予算案編成にあたっては、常務理事会、理事会の決定に従い、次記の事を基点に予てなされたことの説明があり、後に事務局長より詳細に説明、慎重審議の結果、全員異議なく、これに承認可決した。

①主な収入源である年会費は、暫定的に倍額とするも平成5年度予算編成にあたっては、入場者割を基本とする公正な収取方法、適正な金額を検討する。

②会費徴収の具体的な方法、金額については関係委員会において、活動方針に基づく事業計画を立案し、常務理事会、理事会に上程し、4年度上期中に具体案を策定する。

③関東オーブンは継続するも開催方式の変更により、収支がアンバランスとなり、特別会計は、わざ大幅赤字となる。この事を考慮しての一般会計・特別会計予算を編成する。

第3号議案

財日本ゴルフ協会平成3年度事業報告および決算報告、ならびに平成4年度事業計画および予算に関する件

事務局長より4年度、事業計画および予算については、平成3年12月17日のJGA理事会において決定し、すでに加盟倶楽部に送付済みであること、また、決算については、4年2月26日に開催される理

事会において審議決定をみる予定であるとの報告がなされ、全員これを承認した。

第4号議案

監事1名補選の件

監事笠原慶太郎氏、昨年6月逝去のため、連盟規約第13条および23条に従い1名補選を提案。選任にあたっては議長一任となり、細川理事長、緒方太郎氏(長南カントリークラブ)を指名し、全員これを承認した。

第5号議案

連盟規約一部変更の件

平成3年9月28日の連盟事務所移転に伴い、規約第1章総則第2条を「本連盟事務所は東京都千代田区におく」と改正することを動議として提案、全員異議なくこれを承認した。

以上をもって、全議案の審議を終了し、細川議長11時30分閉会を宣した。

*第1号議案において承認可決された細川理事長の活動方針は1頁参照

平成4年度 第1回常務理事会 議事録

日 時 平成4年2月21日(金)午後12時40分

場 所 ホテルニューオータニ 楓の間

出席者 細川理事長、中井、古賀、松浦各副理事長、相山、福田(彰)、北村、古茶、小宮山、小山、松野、蜜沢、鍋島、尾閑、斎藤、庄野、滝沢、田中、渡邊各常務理事

海老原、福田(匡)、林、平山、広中、人見、神場、河尻、桑原、前川、盛川、南学、太田、佐久目、内田、山田、横山、吉岡、吉澤各理事

岩本、諸方各監事

細川理事長議長となり、開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成4年度分科委員長選任の件

選任方法については諸合とおり、理事長一任となり、次記の諸氏を指名これを承認した。

総務委員長 中井 文治
財務委員長 松浦 均
競技委員長 尾閑 秀夫
ハンディキヤップ委員長 渡邊満之助
コース・レート委員長 渡邊満之助
月例委員長 斎藤文志郎
ジュニア育成委員長 松野 京三
広報委員長 庄野五一郎
税対策委員長 小宮山義孝
グリーン委員長 古賀 始
コース選定委員長 鍋島 直要

2. 平成4年度分科委員選任の件

選任方法を踏ったところ、理事長一任となり、理事長は委員長会議(2月27日開催)に一任することとなり、全員これを承認した。

3. 財日本ゴルフ協会 平成4年度委員会委員候補選任の件

選任方法を踏ったところ、理事長、副理事長一任となり、候補者名簿を2月26日

総会・理事会・分科委員会

のJGA理事会に提出することを承認した。
4.平成4年度関東オープン準備委員会設定の件

これまでどうり、特別委員会として設定することを承認した。また、委員長には尾閑秀夫氏を理事長が指名嘱託、委員選任については、尾閑委員長に一任することを承認した。

尚、尾閑委員長より総会にて決議されたチャリティーについて全理事、全加盟俱楽部への協力方の要請がなされた。

以上をもって議題審議を終了、細川議長13時閉会を宣した。

平成4年度 第1回競技委員会 議事録

日 時 平成4年3月17日(火) 13時
場 所 ダイヤモンドホテル会議室

出席者 尾閑委員長、河西、新井(昌)、新井(安)、山田(八)各副委員長、平山、安藤、土井、畠山、平田、本多、市川、飯塚、小山、本吉、中川、沼澤、大出、大島、折井、関谷、竹下、田村、田辺、田中、牛込、山田(武)、山田(栄)、山本、山崎(博)、矢野、吉野各委員

—討議及び決議事項—

1.今年度活動方針

会議に先立ち、尾閑委員長より、今年度退任された、紅露昭通、平田敬量、楠本陽一郎氏に対し、謝辞が述べられた。

運営については次記の方針が示され全員これを確認した。

「昨年度主催競技は諸氏のご協力、ご尽力により無事終了することができた。今年度もKGAを代表する委員としての、自覚と節度をもって出場選手、開催俱楽部関係者に接し、全競技円滑な運営にあたってほしい。」

2.副委員長選任の件

各分科委員の副委員長の選任にあたっては、2月21日の第1回理事会において、委員長に一任することを決議しており、これをうけ尾閑委員長は次記の4氏を指名、委嘱した。

河西幹一、新井昌男、新井安寿、山田八郎氏。また、各班バイスキャップには、平山誠一、市川一夫、織田總三郎氏を指名、委嘱した。

3.班編成および班長の件

今年度も從来どうり別紙の3班をもって編成し、各競技を担当することを決議した。

4.各競技委員長、副委員長、担当班について

別紙のとおり決定した。

5.主催競技実施規定の件

今年度全主催競技(除く関東オープン)の実施規定を別紙のとおり決定した。

6.平成4年度「関東オープンゴルフ選手権競技」開催方式について

尾閑委員長より次記の協力要請がなされ、これを確認した。

「今年度より、プロ協の公式公認競技からはずれることにより、開催方式、内容が大きく変わる。基本方針は去る2月21日の総会において細川理事長より示され承認された。この方針に基づき、関係委員会において具体的に準備をしているが、とくに今年度からゴルフを通じて国際貢献を行うことになりUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)に一定額寄金するこ

とになった。このチャリティーにはプロ協も賛同し、賞金の10%相当の寄金をいたたくことになった。また、KGA1都10県の全加盟俱楽部、プレーヤーにも協力をお願いすることになっているが、競技運営を担当するわれわれ競技委員としては、いっそうの協力をいたたく、諸氏にもお願いしたい。」

平成4年度 第1回ハンディキャップ委員会 議事録

日 時 平成4年3月26日(木) 正午
場 所 ダイヤモンドホテル会議室
出席者 渡邊委員長、平山、桑原、吉澤、福田(豊)、伏見、服部、原、宮元、永田、大原、田原、寺田、佃、西中

J.G.Aハンディキャップ県別実施状況調書

内訳 県別	年度 G 62 H 1 S 2 S 3 S 4 S 5 S 6 S 7 S 8 S 9 S 10 S 11 S 12 S 13 S 14 S 15 S 16 S 17 S 18 S 19 S 20 S 21 S 22 S 23 S 24 S 25 S 26 S 27 S 28 S 29 S 30 S 31 S 32 S 33 S 34 S 35 S 36 S 37 S 38 S 39 S 40 S 41 S 42 S 43 S 44 S 45 S 46 S 47 S 48 S 49 S 50 S 51 S 52 S 53 S 54 S 55 S 56 S 57 S 58 S 59 S 60 S 61 S 62 S 63 S 64 S 65 S 66 S 67 S 68 S 69 S 70 S 71 S 72 S 73 S 74 S 75 S 76 S 77 S 78 S 79 S 80 S 81 S 82 S 83 S 84 S 85 S 86 S 87 S 88 S 89 S 90 S 91 S 92 S 93 S 94 S 95 S 96 S 97 S 98 S 99 S 100 S 101 S 102 S 103 S 104 S 105 S 106 S 107 S 108 S 109 S 110 S 111 S 112 S 113 S 114 S 115 S 116 S 117 S 118 S 119 S 120 S 121 S 122 S 123 S 124 S 125 S 126 S 127 S 128 S 129 S 130 S 131 S 132 S 133 S 134 S 135 S 136 S 137 S 138 S 139 S 140 S 141 S 142 S 143 S 144 S 145 S 146 S 147 S 148 S 149 S 150 S 151 S 152 S 153 S 154 S 155 S 156 S 157 S 158 S 159 S 160 S 161 S 162 S 163 S 164 S 165 S 166 S 167 S 168 S 169 S 170 S 171 S 172 S 173 S 174 S 175 S 176 S 177 S 178 S 179 S 180 S 181 S 182 S 183 S 184 S 185 S 186 S 187 S 188 S 189 S 190 S 191 S 192 S 193 S 194 S 195 S 196 S 197 S 198 S 199 S 200 S 201 S 202 S 203 S 204 S 205 S 206 S 207 S 208 S 209 S 210 S 211 S 212 S 213 S 214 S 215 S 216 S 217 S 218 S 219 S 220 S 221 S 222 S 223 S 224 S 225 S 226 S 227 S 228 S 229 S 230 S 231 S 232 S 233 S 234 S 235 S 236 S 237 S 238 S 239 S 240 S 241 S 242 S 243 S 244 S 245 S 246 S 247 S 248 S 249 S 250 S 251 S 252 S 253 S 254 S 255 S 256 S 257 S 258 S 259 S 260 S 261 S 262 S 263 S 264 S 265 S 266 S 267 S 268 S 269 S 270 S 271 S 272 S 273 S 274 S 275 S 276 S 277 S 278 S 279 S 280 S 281 S 282 S 283 S 284 S 285 S 286 S 287 S 288 S 289 S 290 S 291 S 292 S 293 S 294 S 295 S 296 S 297 S 298 S 299 S 300 S 301 S 302 S 303 S 304 S 305 S 306 S 307 S 308 S 309 S 310 S 311 S 312 S 313 S 314 S 315 S 316 S 317 S 318 S 319 S 320 S 321 S 322 S 323 S 324 S 325 S 326 S 327 S 328 S 329 S 330 S 331 S 332 S 333 S 334 S 335 S 336 S 337 S 338 S 339 S 340 S 341 S 342 S 343 S 344 S 345 S 346 S 347 S 348 S 349 S 350 S 351 S 352 S 353 S 354 S 355 S 356 S 357 S 358 S 359 S 360 S 361 S 362 S 363 S 364 S 365 S 366 S 367 S 368 S 369 S 370 S 371 S 372 S 373 S 374 S 375 S 376 S 377 S 378 S 379 S 380 S 381 S 382 S 383 S 384 S 385 S 386 S 387 S 388 S 389 S 390 S 391 S 392 S 393 S 394 S 395 S 396 S 397 S 398 S 399 S 400 S 401 S 402 S 403 S 404 S 405 S 406 S 407 S 408 S 409 S 410 S 411 S 412 S 413 S 414 S 415 S 416 S 417 S 418 S 419 S 420 S 421 S 422 S 423 S 424 S 425 S 426 S 427 S 428 S 429 S 430 S 431 S 432 S 433 S 434 S 435 S 436 S 437 S 438 S 439 S 440 S 441 S 442 S 443 S 444 S 445 S 446 S 447 S 448 S 449 S 450 S 451 S 452 S 453 S 454 S 455 S 456 S 457 S 458 S 459 S 460 S 461 S 462 S 463 S 464 S 465 S 466 S 467 S 468 S 469 S 470 S 471 S 472 S 473 S 474 S 475 S 476 S 477 S 478 S 479 S 480 S 481 S 482 S 483 S 484 S 485 S 486 S 487 S 488 S 489 S 490 S 491 S 492 S 493 S 494 S 495 S 496 S 497 S 498 S 499 S 500 S 501 S 502 S 503 S 504 S 505 S 506 S 507 S 508 S 509 S 510 S 511 S 512 S 513 S 514 S 515 S 516 S 517 S 518 S 519 S 520 S 521 S 522 S 523 S 524 S 525 S 526 S 527 S 528 S 529 S 530 S 531 S 532 S 533 S 534 S 535 S 536 S 537 S 538 S 539 S 540 S 541 S 542 S 543 S 544 S 545 S 546 S 547 S 548 S 549 S 550 S 551 S 552 S 553 S 554 S 555 S 556 S 557 S 558 S 559 S 560 S 561 S 562 S 563 S 564 S 565 S 566 S 567 S 568 S 569 S 570 S 571 S 572 S 573 S 574 S 575 S 576 S 577 S 578 S 579 S 580 S 581 S 582 S 583 S 584 S 585 S 586 S 587 S 588 S 589 S 590 S 591 S 592 S 593 S 594 S 595 S 596 S 597 S 598 S 599 S 600 S 601 S 602 S 603 S 604 S 605 S 606 S 607 S 608 S 609 S 610 S 611 S 612 S 613 S 614 S 615 S 616 S 617 S 618 S 619 S 620 S 621 S 622 S 623 S 624 S 625 S 626 S 627 S 628 S 629 S 630 S 631 S 632 S 633 S 634 S 635 S 636 S 637 S 638 S 639 S 640 S 641 S 642 S 643 S 644 S 645 S 646 S 647 S 648 S 649 S 650 S 651 S 652 S 653 S 654 S 655 S 656 S 657 S 658 S 659 S 660 S 661 S 662 S 663 S 664 S 665 S 666 S 667 S 668 S 669 S 670 S 671 S 672 S 673 S 674 S 675 S 676 S 677 S 678 S 679 S 680 S 681 S 682 S 683 S 684 S 685 S 686 S 687 S 688 S 689 S 690 S 691 S 692 S 693 S 694 S 695 S 696 S 697 S 698 S 699 S 700 S 701 S 702 S 703 S 704 S 705 S 706 S 707 S 708 S 709 S 710 S 711 S 712 S 713 S 714 S 715 S 716 S 717 S 718 S 719 S 720 S 721 S 722 S 723 S 724 S 725 S 726 S 727 S 728 S 729 S 730 S 731 S 732 S 733 S 734 S 735 S 736 S 737 S 738 S 739 S 740 S 741 S 742 S 743 S 744 S 745 S 746 S 747 S 748 S 749 S 750 S 751 S 752 S 753 S 754 S 755 S 756 S 757 S 758 S 759 S 760 S 761 S 762 S 763 S 764 S 765 S 766 S 767 S 768 S 769 S 770 S 771 S 772 S 773 S 774 S 775 S 776 S 777 S 778 S 779 S 780 S 781 S 782 S 783 S 784 S 785 S 786 S 787 S 788 S 789 S 790 S 791 S 792 S 793 S 794 S 795 S 796 S 797 S 798 S 799 S 800 S 801 S 802 S 803 S 804 S 805 S 806 S 807 S 808 S 809 S 810 S 811 S 812 S 813 S 814 S 815 S 816 S 817 S 818 S 819 S 820 S 821 S 822 S 823 S 824 S 825 S 826 S 827 S 828 S 829 S 830 S 831 S 832 S 833 S 834 S 835 S 836 S 837 S 838 S 839 S 840 S 841 S 842 S 843 S 844 S 845 S 846 S 847 S 848 S 849 S 850 S 851 S 852 S 853 S 854 S 855 S 856 S 857 S 858 S 859 S 860 S 861 S 862 S 863 S 864 S 865 S 866 S 867 S 868 S 869 S 870 S 871 S 872 S 873 S 874 S 875 S 876 S 877 S 878 S 879 S 880 S 881 S 882 S 883 S 884 S 885 S 886 S 887 S 888 S 889 S 890 S 891 S 892 S 893 S 894 S 895 S 896 S 897 S 898 S 899 S 900 S 901 S 902 S 903 S 904 S 905 S 906 S 907 S 908 S 909 S 910 S 911 S 912 S 913 S 914 S 915 S 916 S 917 S 918 S 919 S 920 S 921 S 922 S 923 S 924 S 925 S 926 S 927 S 928 S 929 S 930 S 931 S 932 S 933 S 934 S 935 S 936 S 937 S 938 S 939 S 940 S 941 S 942 S 943 S 944 S 945 S 946 S 947 S 948 S 949 S 950 S 951 S 952 S 953 S 954 S 955 S 956 S 957 S 958 S 959 S 960 S 961 S 962 S 963 S 964 S 965 S 966 S 967 S 968 S 969 S 970 S 971 S 972 S 973 S 974 S 975 S 976 S 977 S 978 S 979 S 980 S 981 S 982 S 983 S 984 S 985 S 986 S 987 S 988 S 989 S 990 S 991 S 992 S 993 S 994 S 995 S 996 S 997 S 998 S 999 S 1000 S 1001 S 1002 S 1003 S 1004 S 1005 S 1006 S 1007 S 1008 S 1009 S 10010 S 10011 S 10012 S 10013 S 10014 S 10015 S 10016 S 10017 S 10018 S 10019 S 10020 S 10021 S 10022 S 10023 S 10024 S 10025 S 10026 S 10027 S 10028 S 10029 S 10030 S 10031 S 10032 S 10033 S 10034 S 10035 S 10036 S 10037 S 10038 S 10039 S 10040 S 10041 S 10042 S 10043 S 10044 S 10045 S 10046 S 10047 S 10048 S 10049 S 10050 S 10051 S 10052 S 10053 S 10054 S 10055 S 10056 S 10057 S 10058 S 10059 S 10060 S 10061 S 10062 S 10063 S 10064 S 10065 S 10066 S 10067 S 10068 S 10069 S 10070 S 10071 S 10072 S 10073 S 10074 S 10075 S 10076 S 10077 S 10078 S 10079 S 10080 S 10081 S 10082 S 10083 S 10084 S 10085 S 10086 S 10087 S 10088 S 10089 S 10090 S 10091 S 10092 S 10093 S 10094 S 10095 S 10096 S 10097 S 10098 S 10099 S 100100 S 100101 S 100102 S 100103 S 100104 S 100105 S 100106 S 100107 S 100108 S 100109 S 100110 S 100111 S 1001

総会・理事会・分科委員会

平成4年度 第1回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成4年3月12日(木) 正午
場 所 JGA会議室
出席者 渡邊委員長 北村副委員長
生田、前川、松岡、諸戸、中川、
岡田、大久保、奥延、佐久間、鈴
木、和田各委員、 福田顧問

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、渡邊委員長挨拶のち、
新任委員の紹介をおこなった。

1. 今年度活動方針

渡邊委員長、以下の活動方針、ならびに
査定実施の方針を提案、各委員これを確
認した。

「当委員会として、

・コース・レート査定方法は日本ゴルフ
協会「B方式」を従来どうり採用し、査
定を実施する。

・勉強会を適宜開催し、各委員の難易度
についての統一を図る。

・これまで現地査定の際は、査定詳細報
告書のみ提出していたが、今年度より、
各組のキャップが意見を取りまとめ、
「B方式」の難易度査定結果を査定1
組につき一枚提出することとした。

・「B方式」の難易度査定数値は9ホール
別にまとめてこととした。

・フロント・ティの査定については、委
員長が机上査定を行い、委員会にて承
認を図る。」

2. 「B方式」による霞ヶ関CC(東コース) 参考査定について

渡邊委員長より、関東ゴルフ連盟の難
易度の基準となる霞ヶ関CC(東コース)
にて早期に勉強会を開催したい旨の提案
がなされ、全委員これを承認した。

これを受け、同俱楽部推薦委員の諸戸
委員が、現在、同コースの改造が終了し、
再査定の申請を行う準備をしている旨の
報告がなされ、委員会として、同俱楽部
の再査定を勉強会をかねて行うことを決
定した。

3. コース・レート査定スケジュールの件

3月12日現在、査定希望の20俱楽部に
ついて、以下のように査定日を決定した。
1. カレドニア・ゴルフクラブ

4月6日

2. ガーデンゴルフ俱楽部 4月13日

3. 南総カントリークラブ(西コース) 4月20日

4. 思い川東急ゴルフ俱楽部 4月27日

5. トヨーカントリークラブ 5月14日

6. 南茂原カントリークラブ 5月14日

- 7. 水戸グリーンカントリークラブ(山
方コース) 5月22日
- 8. 下仁田カントリークラブ 5月29日
- 9. ホウライカントリー俱楽部 6月2日
- 10. ヒルクレストゴルフクラブ 6月9日
- 11. パークリエカントリークラブ 6月16日
- 12. 森林公園ゴルフ俱楽部 7月10日
- 13. 甲斐芙蓉カントリー俱楽部 7月28日
- 14. ウィルソンロイヤルカントリークラ
ブやさとコース 9月4日

- 15. 勉強会・霞ヶ関カントリー俱楽部(兼ね
る再査定) 4月23日
- 16. 小田急富士CC、東京北CC、アイビス
CC、小千谷CC、糸魚川CC、久慈川CCの
6俱楽部については、次回委員会にて査
定日を決定することとした。

4. 東京よみうりカントリークラブ以下3俱 楽部のコース・レート査定について

(1) 東京よみうりカントリークラブ(FT机上
査定、RT修正査定)

- ・ペントグリーン
- バッカ・ティ 72.3
- レギュラー・ティ 70.0
- フロント・ティ 68.1

- ・コーライグリーン
- バッカ・ティ 70.5
- レギュラー・ティ 68.4
- フロント・ティ 66.5

(2) 新津カントリークラブ(FT机上査定、RT
修正査定)

- ・ペントグリーン
- バッカ・ティ 70.4
- レギュラー・ティ 69.0
- フロント・ティ 67.5

(3) 高麗川カントリークラブ(工事期間中の
暫定査定)

- ・ペントグリーン
- バッカ・ティ 70.8
- レギュラー・ティ 69.1

- ・コーライグリーン
- バッカ・ティ 69.7
- レギュラー・ティ 68.1

5. 難易度査定(B方式)について

1月22日スカイエイCCにておこなった、
勉強会の資料をもとに、査定難易度(B方式)
について勉強会を行った。

6. 関東学生連盟推薦選手承認の件

別紙推薦の男子9名、女子7名を承認し
た。

平成4年度 第11回月例競技委員会 議事録

日 時 平成4年3月25日(水) 12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長、山崎副委員長、

平山、市川、小久保、小池、本吉、

阪田各委員 学生連盟委員2名

平成4年度 第1回ジュニア育成委員会 議事録

日 時 平成4年3月9日(月) 13時

場 所 ダイヤモンドホテル

出席者 斎藤委員長、山崎副委員長、

平山、市川、小久保、小池、本吉、

阪田各委員 学生連盟委員2名

—討議及び決定事項—

1. 3月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括が
なされた。

午後から小雨が降ったがままでのコン
ディションであった。関東女子決勝開催
俱楽部ということで女子の参加者が81名
と多く、女子のスタートを後半のスター
トとした。4名の遅刻者、無断欠席者1
名がいたことは遺憾であった。プレーは
グリーンがやや難しかったためかハーフ
2時間30分を要した。開催にあたっては、
俱楽部側役員も参加していただき万全の
準備をしていただいたことに、感謝した
い。

エントリー数は以下の通り
開催日 平成4年3月16日(月)

コース 富里ゴルフ俱楽部

エントリー 168名(男子87名、女子81
名) 東北連盟1名、推薦
1名除く

欠席者数 事前連絡9名(男子7名、
女子2名) 当日連絡6名
(男子3名、女子3名)

無断欠席 1名

出場者数 152名(男子77名、女子75
名)

科間者 4名(運転)
ミーティング 4名

失格者 0名

棄権者 1名

2. 3月例出場資格者報告の件

男子 580名(-19) 女子 190名(-3)

3. 4月例出場資格者報告の件

男子 603名(+23) 女子 178名(-12)

3. 3月のテーマ

・ボールマークの修復の徹底
・プレーの進行に留意すること

4. 平成3年度最終ポイント取得結果の件

別紙のとおり確認した。

5. 4月例組み合わせの件

3年度ポイント上位者をエチケットリー
ダーとしてプレーさせるため、スタート
表に印をつけ認識させて、他のプレーヤー
の模範とさせる。

6. 関東学生連盟推薦選手承認の件

別紙推薦の男子9名、女子7名を承認し
た。

平成4年度 第1回ジュニア育成委員会 議事録

日 時 平成4年3月9日(月) 13時

場 所 ダイヤモンドホテル

出席者 斎藤委員長、山崎副委員長、

平山、市川、小久保、小池、本吉、

阪田各委員 学生連盟委員2名

総会・理事会・分科委員会

岡、松井、松下、三田、本吉、西
村、根本、萩原、萩原、岡戸、大
野、鳴田、多々良、山崎(一)、矢
野(隆)、安間、五十嵐、加藤、堀
越、田村各委員

調整した。

5. 夏季ジュニア・ゴルフ・スクールにつ いて

現在11会場について開催することを決定
しているが、応募者多数の場合は、1会
場増加することを確認した。

6. 関東ジュニア予選・決勝競技について

昨年度開催部、戸塚カントリー俱樂
部が都合により開催不能となつたため、
程ヶ谷カントリー俱樂部(18H)、甲府国
際カントリークラブ(18H)に開催すること
を確認した。他会場は昨年と同じ俱樂
部にて開催する。

7. その他

紅葉副委員長より、筑波カントリークラ
ブにおける俱楽部主催ジュニア・ゴルフ・
スクールについて詳細な報告、説明があり、
各委員所轄俱楽部においても開催しては
しい旨のアピールがなされた。

平成4年度 第1回広報委員会 議事録

日 時 平成4年3月11日(水) 午後3時
場 所 KGA会議室

出席者 庄野委員長、深井副委員長
舟橋、宮元、杉山、和田委員

—討議及び決議事項—

1. 今年度活動方針

理事長より分科委員長一任の指示をうけ、
松野委員長は次記6名の諸氏を任命した。
川島英雄、紅葉昭通、大久保謙、大鷲俊
朗、田辺嘉一(以上専任) 菊野昇(職
員三郎氏委員辞任のため新任)

3. 班編成について

昨年度同様、委員所轄俱楽部、所在地を
基本として、3班とすることを確認した。
また編成は、便宜的なものでありスクー
ル、競技の担当はこれにとらわれないこ
とを確認した。

4. 春季ジュニア・ゴルフ・スクール担当者 について

6会場の分担を委員の出欠回答をもとに

スを通じてPR活動することになる。」

2. 「KGAニュース」No.38企画案

別紙事務局案を承認した。なお、特集は
「関東オープン」とし、尾関関東オープ
ン準備委員長にインタビューすることを
確認した。

3. 今年度競技取材担当委員

別紙のように、各競技の担当者を決定し
た。

4. その他

事務局長より、平成5年度以降の事業計
画のうち、広報委員会関係について、説
明、報告がありこれを確認した。

平成3年度 第2回グリーン委員会 議事録

日 時 平成3年12月12日(木) 16時30分
場 所 日本出版クラブ会館

出席者 古賀委員長、小宮山副委員長、海
老原、浅沼、坂本、福山各委員
萩原、平林、角田、大久保各委員
陪席 鶴見禪三(名古屋大学教授)

—討議及び決議事項—

1. 第24回KGAグリーン研究講習会総括

古賀委員長より次記の報告、総括がなさ
れこれを承認した。

「本日の同会は、出席俱楽部125、出席者
208名というこれまでにない盛会であった。
これは予想をはるかに超えた出席者数で
あり、会場の収容能力から一部の俱楽部
におこなりする事態となつた。次回は
この事に留意し、万全の準備をととのえ
たい。」

また、次回のテーマについては、各委員
検討の上、事務局に企画を提出すること
を確認した。

91年度 関東ゴルフ連盟月例競技年間上位者成績

〈男子の部〉

順位/ポイント	氏 名	クラブ名	14	72	和田 博	東京五日市	15	70	大友 富雄	塙原	29	57	横尾 要	あさひヶ丘	1	80	加藤 勝宗	相模原
1	188	沢田 信弘	長南				70		石井 幹	千葉スプリ	30	55	内藤 正幸	桜ヶ丘	2	68	菊地 あづ子	白帆
2	166	小川 透	岡部チサン				70		神戸 誠	太田双葉	55	55	桂樹 大相模	3	60	三木 恵美子	富士	
3	141	宮 長夫	賀志野				70		森田 徹	ニッソーハ	55	55	松崎 良一	小田原	4	47	中野 陽子	新千葉
4	137	加藤 一彦	千葉				69		阪田 哲男	抽ヶ浦	69	55	金谷 薫孝	明治大学	5	29	宮原 早苗	旅山
5	100	日暮 俊明	扶桑				69		原 雄輝	東名厚木	34	54	竹石 誠波	筑波	6	29	渡辺 道子	高根
6	95	新村 ヨシオ	千葉				69		小久保 武夫	セントラル	21	68	久保英	藤岡	7	28	田中 子枝子	日高
7	90	高安 信行					21		賀部 義朗	橋	66	66	小冷 正弘	鷺野 博之	8	27	五十嵐 洋子	藤岡
8	87	中野 兼治	芙蓉				22		和田 雅英	東京五日市	23	65	岡田 努	GMG八王子	9	26	青木 英子	東筑波
9	83	室野 歩	新千葉				23		横田 真一	修道大学	24	63	林 大作	日本大学	10	50	保田 龍二	愛媛シックス
10	82	室伏 健二	東名				24		横田 光一	伊豆諸島	26	61	佐藤 伊藤祐	磯子	11	48	亀井 隆	唐沢
11	81	岩田 光男	チサン黒羽				26		大庭 寛士	上總富士	26	61	磯子 碓子	水戸	12	59	太田 再勇	中村 清
12	78	石井 孝一					26		大庭 寛士	笠置	27	59	太田 再勇	大相模	13	48	中村 清	
13	75	藤崎 和典					27		大庭 寛士	笠置	27	59	太田 再勇	大相模	14	50	伊豆にらやま	

〈女子の部〉

順位/ポイント	氏 名	クラブ名	14	72	中島 広行	伊豆にらやま	15	70	横尾 要	あさひヶ丘	29	57	横尾 要	あさひヶ丘	1	80	勝宗 勝	相模原
1	80	勝宗 勝					70		内藤 正幸	桜ヶ丘	30	55	内藤 正幸	桜ヶ丘	2	68	菊地 あづ子	白帆
2	68	菊地 あづ子					70		神戸 誠	太田双葉	55	55	桂樹 大相模	3	60	三木 恵美子	富士	
3	60	三木 恵美子					70		森田 徹	ニッソーハ	55	55	松崎 良一	小田原	4	47	中野 陽子	新千葉
4	59	中野 陽子					69		阪田 哲男	抽ヶ浦	69	55	金谷 薫孝	明治大学	5	29	宮原 早苗	旅山
5																		

月例競技成績表

[平成3年度11月月例] 11月8日(土)

霞ヶ関カントリー倶楽部(東コース)

男子 107名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	日暮 俊明	扶桑	36	37	73
2	小久保武夫	藤岡	35	39	74
3	高橋 久幸	韋月・佐野	38	37	75
4	鶴賀 義朗	船橋	38	37	75
5	岩田 光男	チサン黒羽	39	37	76
6	室野 歩	新千葉	38	38	76

コースレート 71.0

女子 63名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	宮原 早苗	筑山	39	42	81
2	小川 愛	宇都宮国際	41	41	82
3	中野 陽子	新千葉	41	41	82

コースレート 68.9

[平成3年度1月月例] 1月21日(火)

程ヶ谷カントリー倶楽部

男子 94名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	沢田 信弘	長原	34	35	69
2	岩田 光男	チサン黒羽	37	34	71
3	宮原 伸夫	習志野	35	36	71
4	中島 広行	伊豆にらやま	37	34	71
5	藤崎 和典	富士・笠間	39	33	72

コースレート 71.8

女子 50名

順位	氏名	倶楽部	アウト	イン	合計
1	菊地あづ子	白帆	41	34	75
2	三木恵美子	富士	38	38	76
3	尾関 久江	武蔵	40	40	80
4	加藤 賀栄	相模原	41	39	80

コースレート 69.6

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次回のとおりです。訂正加筆をお詫びいたします。

理事長

- 濱田カントリークラブ (新)藤原 正男
- 大浅間ゴルフクラブ (新)江戸英雄
- 佐野カントリークラブ (新)岸 信和 (旧)岸 信和 (代行)
- 堀辰シントリークラブ (新)君島 五一 (旧)堀辰寿克 (代行)
- 日光カントリー倶楽部 (新)橋本陽一郎 (旧)加藤 武彦
- ユーハイゴルフクラブ (新)井上 博司 (旧)藤井 勝志
- 狩山カントリークラブ (新)浅野 泰 (旧)荒川 雄
- 鎌ヶ谷カントリークラブ (新)河村 勝夫 (旧)西川 英夫
- 南總シントリークラブ (新)熊谷太三郎 (旧)熊谷 太三郎
- 大森カントリークラブ (新)亀井 正之 (旧)細野 道一
- 相模カントリー倶楽部 (新)小林 吉彦 (旧)福井 政男
- 東名富士カントリークラブ (新)豊田 恵三 (旧)高橋 実則
- 俱楽部会員登録
- 湯田上カントリークラブ (新)等々力和男 (旧)鹿伏 信介
- カン・クリーンカントリー倶楽部 (新)川端 安次 (旧)上嶋 正彦
- カンヒルズカントリークラブ (新)高田 富市 (旧)林 有理
- 長野カントリークラブ (新)有田 一雄 (旧)名尾 良孝
- 鎌ヶ谷カントリークラブ (新)河村 勝夫 (旧)西川 英夫
- 相模カントリー倶楽部 (新)小林 吉彦 (旧)福井 政男
- 府中カントリークラブ (新)山田 喜夫 (旧)大野 忠男
- 関口 良輔 (旧)湖上 舟 (旧)細野 道一
- 大秦野カントリークラブ (新)亀地 正之 (旧)鶴見 実則
- 東名富士カントリークラブ (新)鶴田 恵三 (旧)南学 正英
- ミオスク菊川カントリークラブ (新)南学 正英 (旧)鶴見田正義
- 支配人
- 中条ゴルフ倶楽部 (新)小池 昇 (旧)水野 謙雄
- 安曇野とよしなゴルフ倶楽部 (新)石川 雄一 (旧)百瀬 正章
- 越沼カントリー倶楽部 (新)本島 康治 (旧)齊藤 正彦
- 越沼72カントリークラブ (新)齊藤正彦 (旧)八木 晓二
- 東雲ゴルフクラブ (新)阿久津幸夫 (旧)福支配人 阿久津幸夫

- ヒルクレストゴルフクラブ (正)小久保喜平
- 潮来カントリー倶楽部 (新)齋藤 好司
- 霞ヶ関カントリー倶楽部 (新)岡野忠義(代行) (旧)服部 晋
- 真里谷カントリー倶楽部 (新)小倉 強 (旧)染谷 益朗
- 茂原カントリー倶楽部 (新)藤井 豊 (旧)鈴木 重昭
- 大秦野カントリークラブ (新)村田 直夫 (旧)岡田 英輔
- 東名富士カントリークラブ (新)糸山 隆一 (旧)牧野 真一
- 俱楽部会員登録
- (新)ラコスカカントリークラブ (房州) (旧)スポーツ振興 房州カントリー倶楽部
- (新)サン・グリーンカントリー倶楽部(旧)サン・グリーンカントリークラブ
- 所在地
- 日高カントリークラブ (正)入間郡日高市高萩1203
- 京葉国際カントリー倶楽部 (新)〒265千葉市若葉区多部田町802
- ①043-228-1531
- 滝ヶ浦カントリー倶楽部 (新)〒266千葉市緑区辺田町567 ①043-291-1111
- 新袖コース (新)〒266千葉市若葉区富田町1140 ①043-228-2221
- 黒之台カントリー倶楽部 (新)〒262千葉市花見川区横戸町1501
- 平川カントリークラブ (新)〒266千葉市緑区平川町405
- 木本葉カントリークラブ (新)〒266千葉市緑区大金沢町311 ①043-292-5501
- 本千葉カントリークラブ (新)〒266千葉市緑区大金沢町311 ①043-292-0191
- 東京事務所
- 東雲ゴルフクラブ (正)豊島区高田3-18-10 SGCビル
- ミオス菊川カントリークラブ (正)〒110
- FAX番号
- 菊カントリークラブ ①0471-25-8774
- 沼津国際カントリークラブ ①0559-23-3992
- ゴルフ倶楽部成田ハイツリー ①0479-75-1102
- 休場日
- ヨーアイゴルフクラブ 火曜日
- 吉居カントリークラブ 火曜日
- 大秦野カントリークラブ 火曜日